

一般質問

主な質問と答弁

ビニールハウスの設置

基準や運用の柔軟な対応

徹底した現場主義を



代久木 久代
市議員 藤沢 公明

質問 農業関係者は天候・災害リスクや鳥獣被害に加えて重油高騰、法律面での課題を抱えている。特にビニールハウスの設置基準は農作物の栽培に限定されているため、出荷調整場所や重機・資材置き場、炎天下や雨風時に避難する場所もなく、困難な環境で仕事に就いている現状がある。法解釈や運用については、自治体が独自に基準を制定するなど、徹底した現場主義の視点を持つべきと考え、市の考えを聞きたい。

答弁 農業用ビニールハウスの取扱いは神奈川県建築行政連絡協議会で定められ、

地域の縁側事業 市民の家の活用を



小池 恵子
Vision 藤沢 公明

地域の縁側事業の現



江の島周辺のトンボ口現象

自然の観光資源 江の島周辺のトンボ口 ニューツーリズム造成



山口 政哉
市民クラブ 藤沢

質問 江の島周辺で大きく潮が引くと陸続きになるトンボ口現象について、観光資源としての可能性や活用

答弁 高低差のある護岸に仮設階段を設置する実証実験や、トンボ口の説明看板新設、ホームページ・SNS等によるPRを行った。今後は、新江ノ島水族館との協働や、江島神社と江の島・藤沢ガイドクラブの協力のもと、ニューツーリズム(※)の造成に取り組んでいく。

質問 着地型観光を推進する本市では、体験型コンテンツが非常に有用だが、法規制がボトルネックとなっていると考える。

答弁 この課題をブレイクスルーするための特区制度の活用について聞きたい。

答弁 地域のさらなる活性化を目指し、令和4年7月

質問 湘南藤沢活性化コンソーシアムが発足した。その中で、地域の実情に合った手法について研究を進め、厳しい観光地間競争を勝ち抜けるように取り組んでいきたいと聞きたい。

答弁 まずより多くの寄附者に返礼品等の情報を届けることが重要であり、掲載するポータルサイトの数を増やす取組を行っている。

質問 孤独死防止や見守り等での支援を行っているほか、災害時の支援・援助につなげる等の対応を図っている。また、終活ノート作成や人生会議の普及啓発など、終活支援も進めている。

答弁 令和6年4月に孤独・孤立対策推進法が施行となるため、これまでの取組を充実し、孤独・孤立に悩む人を誰一人取り残さない社会の実現に向け、取り組む。

質問 人生の最期を安心して過ごす仕組みが必要と考えるが、終活支援策について聞きたい。

答弁 現在、終活ノート配布等の周知啓発活動やひとり暮らし高齢者の把握に努めているが、本人が健康なうちに意思決定を支援でき

質問 医療的ケアに対応したグループホームの設置に向けて取り組むべきと考え、市の見解を聞きたい。

答弁 市内の重度障がい者を受け入れるグループホームでは、医療的ケアのある人が入居していないため、制度趣旨の徹底を図り、適切な運用を促進することも、県・市の補助制度により継続的に支援していきたく聞きたい。

質問 課題解決に向けた環境整備として、民間活力を最大限生かすつつ最適な手法を選択し、福祉、医療、教育等の分野を超えた関係性が構築でき、支援を必要とする人が安心して住み続けられる、本市のモデルとなるような取組としていきたいと聞きたい。

答弁 課題解決に向けた環境整備として、民間活力を最大限生かすつつ最適な手法を選択し、福祉、医療、教育等の分野を超えた関係性が構築でき、支援を必要とする人が安心して住み続けられる、本市のモデルとなるような取組としていきたいと聞きたい。

質問 ビル風について、本市では総合設計制度に環境による影響調査を義務付けていないのか。また、辻堂駅南口に建設予定の高層ビルによるビル風に対する影響調査は行わないのか、市の見解を聞きたい。

答弁 現時点では環境環境による影響調査を義務付けていないが、今後、影響調査における意義・効果等を検証し、許可基準の見直しの

質問 環境影響調査の必要性の検討を

答弁 環境影響調査は行わないのか、市の見解を聞きたい。

答弁 現時点では環境環境による影響調査を義務付けていないが、今後、影響調査における意義・効果等を検証し、許可基準の見直しの

質問 環境影響調査の必要性の検討を

答弁 環境影響調査は行わないのか、市の見解を聞きたい。

答弁 現時点では環境環境による影響調査を義務付けていないが、今後、影響調査における意義・効果等を検証し、許可基準の見直しの

民の家を、地域の縁側として活用することについて、市の見解を聞きたい。

また、世代を超えた市民が集う地域の縁側を、今後増やしていくことに関する市の考えを聞きたい。

答弁 新たに活動団体を募集する際には、募集要項に利用可能な市民の家を掲載しており、今後も市民の家の有効活用を図っていく。

また、地域の縁側が、あらゆる年代が気軽に集う場として利用できるよう、縁側で実施されている事業の好事例を共有する等、活動の活性化に取り組んでいく。

質問 ふるさと納税強化 寄附金獲得の取組

答弁 まずより多くの寄附者に返礼品等の情報を届けることが重要であり、掲載するポータルサイトの数を増やす取組を行っている。

質問 市営プール及び湘南台文化センターの、小学生以下の入場料を無償化する場の減収額を聞きたい。

答弁 入場料の令和4年度実績で、小中学生合わせて各プール合計が約474万円、湘南台文化センターが622万円となる。

質問 子育て世帯の経済的負担軽減のため、市営プールと湘南台文化センターの小学生以下の入場料は、付添いの保護者分と合わせて無償化すべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

答弁 本市ではこれまで、無料で子どもたちが遊び活動できる場所として、地

質問 子育て支援事業中での優先順位と、その財源も含めた議論が必要と聞きたい。

子どもたちが楽しく過ごせる環境づくりと支援策について、今後、本市の新たなことも施策の検討を進める中で議論していく。

質問 中学校給食の手法 自校式給食へ切替を

答弁 本市の中学校給食は、保護者代表等による検討の結果、自校式給食に課題が多く、弁当持参に多くの二

質問 小学校の自校式給食の良さを認識しているのあれば、中学校まで拡大すべきと考えるが、教育委員会の見解を聞きたい。

答弁 本市の中学校給食は、保護者代表等による検討の結果、自校式給食に課題が多く、弁当持参に多くの二



無償化で子育て世帯の負担軽減を=湘南台文化センター

(※) ニューツーリズム…従来の物見遊山の観光旅行に対して、テーマ性が強く、体験型・交流型の要素を取り入れた新しい形態の旅行。